

# CNJ Speakers

Know (≠No) More Cancer 私たちは、もっと伝えたい



No.  
09

Special Talk～中村 清吾 × 鈴木 美穂 対談  
2014年度プロジェクトのご報告／私たちの草の根活動  
海外がん医療 TOPICS / Event Schedule  
Special Thanks / AKIBA Cancer Forum

乳腺外科医×がんサバイバー

人	が
生	ん
を	に
応	な
援	っ
し	た
た	後
い	の

## 鈴木 美穂

NPO法人maggie's tokyo共同代表、若年性がん患者団体「STAND UP!!」副代表、Cue!～Congratulations on your Unique Experience代表。2008年、24歳のとき乳がん罹患。テレビ局にて報道局社会部記者(厚生労働省担当)として働く傍ら、がん患者と支える人たちのための相談支援センター「maggie's tokyo」の設立に取り組んでいる。

## 中村 清吾

昭和大医学部乳腺外科教授。1982年千葉大学医学部卒業。2005年聖路加国際病院プレストセンター長(初代)、2010年昭和大医学部乳腺外科教授、昭和大病院プレストセンター長。日本の乳がん事情に精通したチーム医療の第一人者。日本外科学会指導医、日本乳癌学会乳腺専門医、NPO法人日本乳がん情報ネットワーク代表理事。第23回日本乳癌学会学術総会会長を務める。

がんの治療法の進歩により、病院の中だけではなく社会の中で生きる患者が増えてきている。今、がん闘病中の患者のみならず、がんを乗り越えて生きるサバイバーまでをフォローできる環境が必要とされています。

がん患者が、がん向き合い、その人らしく、その先の人生を歩める社会を作るために必要なサポートとは…。乳腺外科医・中村清吾先生と乳がん体験者・鈴木美穂さんに、それぞれのお立場からのお考えや取り組みを伺いました。

### がんの経験を生かして生きる

### 新たな夢に向かって邁進中

「若年性乳がんを経験されて

**鈴木** 小学生の頃から夢だったテレビ局の記者という仕事に就いて3年目、仕事もプライベートも充実していた24歳のときに、乳がんが見つかりました。8カ月間、仕事を休職して、手術、抗がん剤、放射線、分子標的薬、ホルモン療法と、「フルコース」の治療を受けました。告知から7年、今は、私自身があの頃にほしかった情報や居場所を、今、苦しんでいる方に届けたい。その想いで、「がん患者と支える人々が自分の力を取り戻すための居場所」である英国のマギーズセンターを、東京の豊洲に設立するプロジェクトを進めています。この秋に着工し、冬に完成予定で、寄付金での設立と運営を目指しています。がんを経験したことで新たな夢が見つかりました。

「がんになった後も自分らしく生きるために、必要なサポートとは？」

**中村** 乳がんは他のがんに比べて発症年齢が若く、40代後半にピークを迎えます。この年代の

女性は、母として、妻として、仕事人として、最も中核的な存在です。病気が分かると、多くの方は職場を離れて一定期間、治療をすることになりますが、治療後に社会復帰をしようと思っても、以前と同じように働ける環境が整っていないことも多いのが現状です。さらに、ホルモン療法の副作用によるホットフラッシュや不眠、うつ症状など、なかなか周りに理解されにくく、仕事や家事がしんどくて続けられなくなる方も。そのような乳がん治療中の状況を社会にもっとわかってもらえるように働きかけるのも私たち医師の役割であり、そういった状況を改善するために、薬の処方を含めて患者さんをしつかりサポートできる体制が大切です。東京慈恵会医科大学創立者の高木兼寛先生の言葉で、「病気を見ずして、病人を見よ」というのがあります。病気ではなく、病気を抱えるその人全体を見て、がんになった後も、自分らしい生き方ができるように支えていきたいと思っています。

**鈴木** サバイバーシップですね。私自身、7年



## がんになった後も自分らしい生き方を— 医師としてしっかり支えていきたい

前に闘病しているときに、何よりも一番苦し  
かったのは、その先の未来がまったく想像でき  
ず、がんとともに生きていく情報にたどり着け  
なかつたことでした。それが今、生きる希望に  
つながる活動をしたという原体験になってい  
ます。

—病院内のサイババーシップ支援を教えてください

**中村** 待合室に、様々な情報提供を行うコーナー  
を設けています。そのスペースを利用して、患者  
さん同士の集いや、看護師、ボランティアスタッ  
フが、少人数制のグループで勉強会を開くなどし  
て、患者さんに必要な情報を提供し、サポートし  
ています。

—鈴木さんが病院の外に作ろうとされている、  
がん患者支援施設とは？

**鈴木** 英国で生まれたマギーズセンターは、がん

患者や家族が、誰でもいつでも予約なしに利用で  
きる場所で、病院のように安心できて、家のよう  
にくつろげるよう建築にもこだわっています。そ  
こには医療者がいつもいて、友達に話すかのよう  
に悩みを相談でき、様々な専門の支援を無料で受  
けられます。私がマギーズセンターに出会ったの  
は昨年3月で、私自身ががん向き合ったり、  
患者さんと関わったりする中で、「こういうのが  
ほしい」と求めていたまさにそのものでした。

—マギーズセンターを東京(日本)に作ろうと  
思った理由は？

**鈴木** 私は闘病中の一番つらいときに、がん患  
者に対する支援策にたどり着くことができませ  
んでした。ですので、社会を巻き込む形で病院  
の外にマギーズセンターを作ること、がんにな  
る前から多くの人に施設を知ってもらい、が  
んになって本当に困った時に、一つの選択肢と



してマギーズセンターに来ていただけたら、そ  
こからまたさまざまな支援策につなげる役割が  
できると思っています。なにより、がんになっ  
た方が自分の力を取り戻す、生きる希望につな  
がる場所なので、東京にも必要だと思いました。

—中村先生は病院外にそのような施設ができる  
ことをどう感じますか？

**中村** 病院の中だけだと、その病院の診療スタ  
イルや、医療者の人生観や哲学に左右されるこ  
ともあると思うのです。医療の世界にセカンド  
オピニオンがあるならば、がんとともに生きて、  
生活する上でのセカンドオピニオンがあっても  
いいですよ。

—がんを乗り越えた方が、生きやすい社会にす  
るために必要なことは？

**中村** 乳がんを患った人も、患っていない人も、  
乳がんに対してほぼ同じ認識を持つことが大切  
です。がんと聞くと、半年先には命がないと思っ  
て腫れ物に触るようにならざる方もいらつしや  
います。それを払しょくしなければ、変わら  
ないと思うのです。

**鈴木** 私のがんを告知されたとき、「あと何カ  
月生きられますか？」と聞きました。やはり、

がん＝死のイメージが強くて、がんになった後  
に生きている自分が想像できなくて本当に苦し  
かったのです。当時、もつとがんに対する正し  
い知識を持つていれば、必要以上に苦しむ必要  
はなかったと思うので、がんになる前から正し  
い知識を持つておくことが大切だと痛感してい  
ます。

—最後に、ピンクリボンキャンペーンの今後の  
役割についてお考えをお聞かせください

**中村** これまでは、検診・早期発見が中心でした  
が、これからはもつと患者さんに目を向けた活動  
が大切になってきます。がんを患った方が、がん  
になる前と同じように社会の一員として、特別扱  
いされることなく普通に生きていけるよう、社会  
全体で支えることが必要です。それと、例えば外  
科手術の臨床試験はお金が集まらなくてなかなか  
前に進まないのが現状ですが、センチネルリンパ  
節生検の臨床試験が出たことで患者さんのQOL  
がすぐ上がつたように、患者さんにとって本當  
に必要な臨床試験に、一般の寄付がもつと使える  
ようになると思います。

# セミナー・イベントは49回開催、 7,256名にご参加いただき、 スタジオプログラムは 26コンテンツの収録・配信を 行いました

※動画再生回数は公開以降 2015/4/15までの、のべ視聴回数

CNJは 2014年度、患者さん・ご家族・医療者・一般の皆さまを対象に、全国各地で 49回のセミナーを開催し、7,256名にご参加いただきました。また、スタジオプログラムは 26コンテンツの収録・配信を行い、昨年度実施プロジェクトの動画総再生回数は 65,603回でした。ご来場いただきました皆さま、ご支援いただきました皆さまに、この場を借りて、御礼申し上げます。

活動カテゴリ	プロジェクト	方法	時期	場所	参加人数
疾患別 テーマ別 セミナー	大腸がん啓発 ブルーリボンキャンペーン	集客セミナー 4回開催	7、10、2、3月	名古屋、大阪、 人吉（熊本）、東京	1,069
		特設 Web サイト運営	通年	Web	-
		活動に賛同する医師への協力要請	通年	47 都道府県	-
		啓発グッズの作成	通年	Web	-
	肺がん 疾患治療啓発キャンペーン	集客セミナー 3回開催	6、9、11月	広島、名古屋、仙台	674
		特設 Web サイト運営	通年	Web	-
	小児がん啓発	集客セミナー 1回開催	9月	大阪	137
		レモネードスタンド実施	通年	全国 16 か所	約18,000杯提供
	Rock Beats Cancer	チャリティライブ 2回開催	6、11月	東京、京都	520
		AYA 世代がん体験者招待	6、3月	東京、埼玉	9
		特設 Web サイト運営	通年	Web	-
	子宮頸がん啓発 ティール&ホワイトリボンプロジェクト	啓発マテリアル・グッズ作成	通年	全国	啓発リーフレット 10万部配布
		特設 Web サイト運営	通年	Web	-
		分かち合いの会運営委託	11、12、1、2、3月	岐阜	35
		1 団体 5 万円を限度に助成	通年	秋田、富山、群馬、千葉	4 団体
		おしゃべりルーム 7回開催	4、5、6、7、8、9、11月	東京	94
		COGS.net 交流会開催	11月	東京	11
		患者へのメイクとポートレート撮影	8月	東京	13
		★ AKIBA Cancer Forum	1 日で 42 コマのがんに関する講義を実施	8月	東京
	MBS Jump Over Cancer	報道番組連動セミナー 5回開催	4、6、8、10、12月	大阪	439
	アピタルがん夜間学校シリーズ	集客セミナー 12回開催	通年、毎月第3水曜日	東京	1,065
	★胃がん 疾患治療啓発キャンペーン	集客セミナー 3回開催	8、10、1月	熊本、青森、横浜	383
		啓発グッズの作成	3月新規作成	Web	-
		特設 Web サイト運営	8月新規作成	Web	-





活動カテゴリ	プロジェクト	方法	時期	場所	参加人数
疾患別 テーマ別 セミナー	前立腺がんセミナー	集客セミナー 1 回開催	9月	東京	140
	乳がんセミナー	集客セミナー 1 回開催	2月	大阪	208
	Over Cancer Together	ワークショップ形式のスピーチ研修開催	3月	東京	30
インターネット による 情報発信	がんチャンネル	Web 配信、SNS による拡散	通年	Web	「いいね！」 13,049
	20 疾患フェイスブック	SNS による拡散、スポット広告	通年	Web	「いいね！」 15,531 (20 疾患合計)
	★悪性黒色腫：メラノーマ	特設 Web サイトでの動画配信	3月新規作成	Web	「いいね！」 474
冊子	ブックレット作成・配布	3冊作成、10冊改訂、 シリーズ全 18冊に	通年	全国がん診療連携拠点 病院ほかへ配布	63,073DL/PV
相談事業	がん体験者ピアサポート	ピアサポーターの派遣週 1～2回	通年	相模原協同病院ほか 神奈川県内 6 病院	556
	がん情報ステーション	対面でのサポート	5-6回 / 月開催	東京・大阪	120
養成講座	CIN：がん情報ナビゲーター養成講座	Web-Learning 講座	7～3月	Web	48
	BEC：乳がん体験者コーディネーター 養成講座	Web-Learning 講座+対面講習	7～3月	Web・東京・大阪	41
	BEC/CIN フォローアップ	集客 認定者活動報告会開催	8月	東京	42
	CSS：がん体験者講師養成講座	Web-Learning 講座	7月～3月	Web	15
学会・研究団体 等との連携	NPO 法人胸部腫瘍臨床研究機構	集客セミナー 1 回開催	9月	東京	115
	★久留米大学先端治療研究センター	集客セミナー 1 回開催	7月	東京	79
	★NPO 法人婦人科悪性腫瘍研究機構	集客セミナー 1 回開催	7月	東京	136
	★NPO 法人近畿がん診療推進ネットワーク	集客セミナー 1 回開催	3月	大阪	123
	★日本肺癌学会・肺がん医療向上委員会	集客セミナー 4 回開催	7、8、9、10月	大阪、名古屋、福岡、東京	579
	★第 55 回日本肺癌学会学術集会	市民公開講座・市民向けプログラム	10、11月	大阪、京都	290
	★日本放射線腫瘍学会 第 27 回学術大会	学術大会での市民向けプログラム	12月	横浜	49
	★佐賀大学医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科	特設 Web サイトでの動画配信	通年	Web	-
企業協働	かつらのデイリース	提携サロンにてスタイリング・提供	通年	全国	延べ 6,207
	★ナース専科タイアップセミナー	集客セミナー 5 回開催	10、11、12、1、3月	東京	189
	★映画「ぼくたちの家族」 上映会&トーク	集客セミナー 2 回開催	5月	東京・大阪	292
CNJ 活動報告	季刊誌作成・配布	季刊誌冊子発行・送付	4、7、10、1月	事務局内	各刊 2,500 部発行
その他	企業に向けた事業	社内向け研修企画実施、研修資料作成、 看護師意識調査ほか	-	-	-

★は昨年度の新規プロジェクト



## 藤沢市民病院でのピアサポート活動

CIN9期生 森 結夏さん



自分が病を得、病を通じて知り合った友を見送り、命には限りがあることを痛感しました。天国の友人が応援してくれているように感じてCINを受講。ご縁があり、2014年1月から藤沢市民病院でピアサポートの活動をさせて頂いています。

がんの部位が違ってわかりあえること、同じ部位のがんでもわかりあえないこと、それぞれに抱える問題は違いますが、「一人じゃないよ!」「Peer=仲間がいるよ!」とお伝えすると、皆さま少しホッとなさり、お顔が明るくなります。そして、お話を伺ううちに、私自身も皆さまからたくさんのおしさを頂き、それが活力になっているのを感じるこの頃です。

★藤沢市民病院 がん体験者によるピアサポート  
第1・3水曜、第2・4木曜の11:00～16:00

## がん患者等就労支援社労士

CIN10期生 内田 哲世さん



昨年10月に神奈川県がん患者等就労支援社労士派遣モデル事業がスタートし、4人の社労士が当番制で担当してきました。相談は、治療と仕事の両立支援を目的としており、就労継続だけでなくキャリア支援など多岐にわたります。あくまでも患者の気持ちや思いをしっかりと傾聴するよう心がけています。相談者からの相談後アンケートでは、概ね9割を超える満足度評価を得ています。

私は、社労士であり同時にキャリアカウンセラーとして多くの就労支援に関わってきましたが、第10期のCINとして認定いただいた機会に、新たな気持ちでがんサバイバーシップに取り組んでいきます。

私は、社労士であり同時にキャリアカウンセラーとして多くの就労支援に関わってきましたが、第10期のCINとして認定いただいた機会に、新たな気持ちでがんサバイバーシップに取り組んでいきます。

【相談日】

- ★神奈川県立がんセンター 第1・3金曜午後
- ★横浜市立市民病院 第1木曜午後
- ★北里大学病院 第2金曜

## がん体験者向けアロマセラピー講座

BEC1期生 荒木 聡子さん



2008年より御茶ノ水オフィスのCNJの会議室をお借りして、アロマセラピー講座を開催しています。がん患者やそのご家族だけでなく看護師、薬剤師の方々にも参加いただいております。

初めてアロマに接する方、さらに知識を深めたい方、どなたでもどの回からでも参加いただけます。皆さんに作っていただくアロマクラフトは毎回好評をいただいております。20種類以上ある精油からお好きなものを選び、お好みのブレンドでパックやスプレーなどを作ります。

レッスン後はハーブティーを飲みながら、近況報告や情報交換など、楽しく会話しています。

植物の香りを楽しみながら心地よい時間を一緒に過ごしてみませんか？

★がん体験者向けアロマセラピー講座

月1回(土曜)、12回コース(1回だけのレッスンも歓迎)、2,500円(テキスト、材料費込み。ハーブティー付き)  
<http://www.cancernet.jp/station/tokyo/aroma>

## 乳がん患者会わたげ会代表

BEC7期生 上原 寿美子さん



長野県東部を中心に活動する「乳がん患者会わたげ会」は、1998年に佐久総合病院の患者有志により創立され、会員数は約120名、今年で18年目の活動を続けています。

活動は「乳がんに関する最新の情報を学ぶ講演」と「患者が互いの不安や悩みを語り合うサロン」が柱となっています。講演は佐久医療センターの乳腺外科医師や治療に関わる医療者を講師に開催し、サロンは「再発者のためのサロン」、「若い患者のためのサロン」、「患者と家族のためのサロン」を、年間12回15名のスタッフが運営しています。

私がBEC7期に学んだ縁で、宮城県石巻市と大崎市の患者会の皆さまと現地で交流することができました。また国立がんセンターの「患者・市民パネル」にも私に続き1名のスタッフが任期を務めました。地元を根を張りつつ、目は世界へ向けた活動を続けます。

★乳がん患者会わたげ会

<http://pink.ap.teacup.com/watage/>  
連絡先: watage-saku@aamil.plala.or.jp

# 海外がん医療 TOPICS

## 最近注目の免疫チェックポイント阻害剤って？

免疫機能は、がんを含む様々な病気から体を守ってくれています。しかしがん細胞は、免疫系の一つであるT細胞にブレーキをかけ、T細胞の攻撃から逃れているという仕組みがここ数年の研究で明らかになりました。

免疫系は異物を攻撃するスイッチが入った後は、自分でスイッチを切るようにプログラムされています。CTLA-4やPD-1はT細胞表面上にある受容体で、T細胞を不活化して攻撃にブレーキをかけます。そこで研究者は、抗CTLA-4抗体や抗PD-1/PD-L1抗体を使って、免疫チェックポイントと呼ばれるブレーキ役のタンパク質を阻害し、ブレーキを解除してやれば、再びT細胞が活発にがん細胞を攻撃し始めると考えたのです。

免疫チェックポイント阻害剤のこれまでの臨床試験では、イピリムマブ(抗CTLA-4抗体)により進行性悪性黒色腫(メラノーマ)の生存期間が有意に延長されることがわかり、2011年には同薬剤が転移性メラノーマの治療薬として米国食品医薬品局

(FDA)に承認され、2014年にはペンブロリズマブ(抗PD-1抗体)も承認されました。また今年3月には、抗PD-1抗体のニボルマブが転移性肺扁平上皮がんの治療薬としてFDAに承認されています。

免疫チェックポイント阻害剤は、これまでの細胞傷害性の抗がん剤や分子標的薬とは違った種類の治療薬で、すぐに腫瘍を縮小させなくても、長期に安定をもたらしたり、生存期間を改善したりするという特徴があります。免疫チェックポイント阻害剤の単剤、あるいは併用療法など異なる組み合わせで、様々ながんの治療を目的とした第1相、第2相、第3相の臨床試験が世界中で行われています。すでに腎細胞がんやトリプルネガティブ乳がん、前立腺がん、膀胱がん、頭頸部がんなどに対しても有望な可能性が示されていて、画期的ながん治療薬として期待されています。

情報提供/海外癌医療情報リファレンス(www.cancerit.jp)

## がんの基礎知識をウェブで学べる！ CNJ養成講座の受講生を募集中

CNJでは、がんの基礎知識を学べるウェブ講座を開講しています。オンデマンド・ウェブ・ラーニングシステムを用い、インターネット上から「日本を代表する講師陣」による最新のがん医療情報を、「いつでも」「どこでも」学ぶことができる養成講座です。

Breast cancer  
Experienced  
Coordinator  
**BEC**

### 乳がん体験者コーディネーター (BEC)養成講座

乳がん医療情報のエキスパートになる！

乳がん体験者を対象とした講座で、全20科目の講義視聴とレポート提出、修了試験の【前期】と、実践的少人数学習プログラムの【後期】で構成されます。乳がんと診断されて直面する問題を解決できる情報にアクセスし、提供できる人材を養成します。

これまでに約300名のCNJ認定乳がん体験者コーディネーターが誕生し、全国各地で活躍されています。

#### ■第11期申込期間

2015年10月31日(土)まで

#### ■前期受講期間

2015年7月9日(木)～11月30日(月)

#### ■後期受講期間

2016年1月～3月を予定

**CIN** Cancer  
Information  
Navigator

### がん情報ナビゲーター (CIN)養成講座

信頼性の高いがん情報を学ぶ

がん患者やその家族、がんに関わりのある方々を対象とした講座です。

講義は、がんの病態生理、がん医療が行われる上で知っておくべき各種規定、EBMとガイドライン、主たるがん種の診断・治療、インターネットを用いたがん医療情報の収集などで構成されます。

これまでに約200名のCNJ認定がん情報ナビゲーターが誕生し、それぞれのお立場で学んだスキルを活用いただいています。

#### ■第11期申込期間

2015年12月10日(木)まで

#### ■受講期間

2015年7月9日(木)～2016年2月3日(水)

**CSS** Cancer  
Survivor  
Speaker

### がん体験者スピーカー (CSS)養成講座

自分のがん体験を多くの人に伝える

本講座が提供するスライドテンプレートを使って、がんに関する基礎知識と自分のがん体験を伝える講演パッケージを完成させる講座です。

効果的なプレゼンテーション術を学び、貴重な体験を効果的に伝え、がん啓発に貢献しませんか。

本講座の終了時には、自分の講演で使えるスライドパッケージが完成する内容です。受講終了後は、がん体験者講師として登録できます。

#### ■申込期間

随時受付中

#### ■受講期間

受講スタート時から半年以内

詳細は <http://www.cancernet.jp/training> をご覧ください

各イベント・お申し込みは

CNJ Event Schedule

**7/26**  
(日)  
**大阪**  
・  
**8/29**  
(土)  
**名古屋**

**9/27**  
(日)  
**東京**  
・  
**10/24**  
(土)  
**福岡**

**【医療従事者向け】**  
**医療従事者に知ってほしい肺がん医療**  
 ～肺がんの最新治療とその副作用対策・患者とのコミュニケーション～

特設サイト  
<http://jalca.jp/medical-seminar/>

専門医による肺がんの最新治療の講演や、薬剤師、看護師、がん体験者のお立場からの講演を通して、患者とのコミュニケーションを考えていきます。

- 7月26日(日) 大阪セミナー
- 8月29日(土) 名古屋セミナー
- 9月27日(日) 東京セミナー
- 10月24日(土) 福岡セミナー

**8/29**  
(土)  
**松本**  
・  
**9/13**  
(日)  
**弘前**

**10/3**  
(土)  
**尼崎**  
・  
**12/5**  
(土)  
**東温**

 **BLUE RIBBON CARAVAN**  
**もっと知ってほしい大腸がんのこと**

特設サイト  
<http://www.cancernet.jp/brc>

大腸がんの診断・検査から、外科的治療・薬物療法、相談支援センターの活用方法まで、広く一般の皆さまに知って頂くことを目的に、今年度は4都市で開催します。

- 8月29日(土) 松本(長野県)セミナー
- 9月13日(日) 弘前(青森県)セミナー
- 10月3日(土) 尼崎(兵庫県)セミナー
- 12月5日(土) 東温(愛媛県)セミナー

**9/12**  
(土)  
**東京**

**【看護師向け】**  
**もっと知ってほしい、乳がん患者支援に必要な最新情報アップデート**  
 ～治療の進歩と、多様化する副作用への効果的なケア～

第1部は乳腺外科医と乳がん看護認定看護師による、乳がん治療の進歩と、副作用への効果的なケアについてのトークショー、第2部は乳がんサバイバーに、治療中のメイク指導法と、妊孕性温存の体験談をお話し頂きます。

開催日/9月12日(土) 参加費/5,000円  
 時間/13:00-17:00  
 場所/株式会社エス・エム・エス本社18階 セミナールーム  
 (東京都港区芝公園2-11-1 住友不動産芝公園タワー)

お申し込みはナース専科セミナーサイトから  
<http://nurse-senka.jp/contents/seminar/218326/>

**7/20**  
(月)  
**東京**

**第56回日本肺癌学会学術集市民公開講座**  
**映画「ぼくたちの家族」を観て考える**  
**がん患者と家族**

上演後には原作者である早見 和真さんを迎え、久光 重貴さん(フットサル選手・肺がん患者)、久保田 馨先生(日本医科大学附属病院)、弦間 昭彦先生(日本医科大学大学院/第56回日本肺癌学会学術集會会長)を交えたトークセッションも開催します。総合司会は中井 美穂さん(フリーアナウンサー)。

開催日/7月20日(月) 参加費/無料 時間/13:00-16:30  
 場所/秋葉原UDXシアター (東京都千代田区外神田4-14-1)

特設サイト <http://www.cancernet.jp/56jlcs4c/>

**9月**  
公開予定

ティール&ホワイトリボンプロジェクト  
**インターネット動画配信**  
**もっと知ってほしい婦人科がんのこと**

子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんの検査・診断・治療や、その他の婦人科悪性腫瘍や婦人科がんに伴う妊孕性温存など、全10のテーマにわたる専門医の講義を、インターネットで動画配信します。

特設サイト <http://www.sikyukeigan.net/>

**11/22**  
(日)  
**大阪**

 **胃がん疾患治療啓発キャンペーン**  
**もっと知ってほしい**  
**胃がんのこと in 大阪**

患者さんが本人の意思に基づき、最適な治療に臨めるよう、科学的根拠に基づく胃がんの最新の治療情報を提供します。胃がん経験者の体験談も。

開催日/11月22日(日) 参加費/無料  
 時間/13:00-16:00  
 場所/難波御堂筋ホール 8A (大阪市中央区難波4-2-1)

特設サイト <http://www.cancernet.jp/gastriccancer/>



心から感謝を  
申し上げます

NPO 法人の活動は、その法人のミッションとビジョンに賛同を頂いた企業様・団体様、個人様の寄付、及び事業収益により行なわれています。以下のリストは、NPO 法人キャンサーネットジャパンにご寄付、ならびに事業支援を頂いている企業様・団体様・個人様です。

## サポーターリスト

日本イーライリリー株式会社	メルクセロノ株式会社	セコム損害保険株式会社	アボットジャパン株式会社
サノフィ株式会社	株式会社ポーラ	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	チューリッヒ生命
株式会社エス・エム・エス	株式会社ダイアナ	武田薬品工業株式会社	バイエル薬品株式会社
アラガン・ジャパン株式会社	ブリストル・マイヤーズ株式会社	アメリカンホーム保険会社	MSD 株式会社
日本ベクトン・ディッキンソン株式会社	エイベックスメディカル株式会社	日本生命保険相互会社	株式会社カミツレ研究所
株式会社アートネイチャー	株式会社インフロント	グラクソスミスクライン株式会社	東急建設株式会社
京の宿 洛兆	昭和薬品加工株式会社	株式会社ジャンパール	株式会社マーベルカンパニー
株式会社ファントムフィルム	明治安田生命保険相互会社	大正富山医薬品株式会社	パルシステム共済生活協同組合連合会
大日本印刷株式会社	アミン株式会社	株式会社トロップス	サンノバ株式会社
Frasers Hospitality Japan 株式会社	ヒューマンテラス株式会社	JR 内野カントリークラブ	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
QOL 総合研究所株式会社	株式会社幻冬社	株式会社博多大丸	株式会社オーシャナイズ
株式会社 Isis	大阪ガスともしびクラブ		

※敬称略・順不同

## 個人サポーター

相澤昂佑、相戸ミドリ、相原光雄、浅田育子、浅野牟津子、阿南里恵、池谷直子、石黒めぐみ、石山知実、磯貝ひで、板橋道朗、市川博久、市川康子、市川靖史、伊藤昌徳、伊藤和茂、伊藤栄次、井上みちよ、井ノ口将樹、今井寛、いまいこえこ、岩佐多香子、岩田典子、岩永幸三、上田隆子、上原秀幸、内田尚子、宇都宮安孝、梅本美土里、江越洋二、蝦名章、大川久代、大津弘子、鴻香代子、大貫愛子、大橋泰啓、大林孝司、大宮江利子、小笠原昭二、岡田三奈、岡野亜紀、岡部範康、小川悦代、荻野美穂、奥歯敏彦、奥田慎也、奥村まさ美、長田篤史、長田由美子、押田輝美、尾道寛紀、可知健太、勝田文一、勝保範之、加藤明子、金澤和夫、加納由紀子、上瀬瀬麻希、茅島由香、鴫田才次郎、川口允義、川口ゆづか、川越満、菊田創、北川英雄、喜多島昭、鬼頭千博、木下夕美絵、木村稔美、清野幹雄、久保敏信、熊谷正、桑名透、桑原孝之、桑原澄彦、小泉美紀、古久根幸司、御所名典子、小西はるみ、小林智江、小林誠子、権平正幸、近藤利之、齋藤雄紀、齋藤潤、齊藤康夫、酒井圭子、境谷千恵子、阪上孝子、坂本裕明、佐久間一好、櫻井はるみ、笹木智之、笹田秀明、佐藤隆広、佐藤セチ子、佐野経夫、佐山篤、清水佐江子、清水敏明、庄司亜紀、杉田澄夫、杉原健一、鈴木博子、鈴木敬子、鈴木勝宏、鈴木和恵、鈴木達也、栖原洋子、鷲見としみ、関原健夫、瀬戸政行、平慎太郎、高岡里映、高橋裕恵、高橋栄一郎、高橋清治、高村僚、竹内明美、武保みつる、竹本桃子、田嶋はる、立花文代、立田隆文、田妻俊也、田中早苗、田中愛子、田中のり子、田中文夫、田中守、田中暢子、田邊聡、谷本圭司、玉川裕子、田村恵子、丹治俊邦、茅根敏子、角田万木、戸谷彰、鶴谷純子、戸田直美、唐梨子孝、冨田豊、豊田厚子、内藤泰嗣、中川清司、中子真樹子、中野早苗、長原世右子、中村好子、中村隆弘、中本三千香、中山次男、鍋島敏子、並木美緒、浪瀬耕造、新納明則、西田郁夫、西田憲司、野中一仁、野間義幸、橋本逸郎、橋本佐与子、長谷川重雄、羽田正純、畠山紀江、馬場朋子、馬場秀夫、浜野雅彦、原恵美子、原恵美子、樋口貴士、平子義紀、平戸由美、廣上稔、広瀬真奈美、福田文子、福永哲、藤田一仁、藤田典子、藤原靖代、古田珠美、古田峰子、古田元彦、古知貞子、細井清、細山幸次郎、堀内美保、堀江英親、本間誉富、本間三樹子、前田紀美子、前田英寿、前原克章、牧野あずみ、増田晴美、松栄真梨子、松崎克夫、松田芳典、松永吉郎、間中健介、三浦仁美、三浦聖子、三澤潤、水八寿裕、水上昇、水野与理子、溝口昌弘、溝口香、三田尚子、水上承美、宮崎昭、宮崎健司、宮崎満美子、宮崎芳幸、三好正起、三好研作、宗像若菜、村上利枝、望月文子、森岡千香子、森嶋とみ子、森島美智子、矢崎洋祐、安井八千代、安田定明、矢吹義明、山口克己、山口美穂、山崎明子、山崎静、山崎宏之、山下ルミ、山下恵子、山田悦子、山手小夜子、山出真希子、大和ヒロシ、山本晶子、山本起世子、弓木和子、与儀淑恵、吉川貴己、吉川真紀、吉田光宏、吉田作一、吉武忠男、和田修、渡井健太郎、渡辺一夫、渡辺千鶴、渡辺則幸、渡部史人、渡辺芳子

※掲載のご許可を頂いている方のみご紹介させていただきます ※敬称略・50 音順

## 2014年度助成金プログラムをご支援いただいた先

かながわボランティア  
活動推進基金 21

公益財団法人  
大阪コミュニティ財団

平成 24 年度  
東京都地域中小企業  
応援ファンド



川上 祥子 (かわかみ さちこ)  
NPO法人キャンサーネットジャパン  
理事・事務局長。看護師として働いた  
経験を活かし、看護師向けのプロ  
ジェクトにも力を入れています。プラ  
イベートでは一人の息子のママ。

るき皆さまのご理解とご支援をよ  
ろしくお願いいたします。

CNJの理事・スタッフ、支援  
者は、がんに関して、それぞれ  
に Personalな体験と想いを持っ  
ています。その想いを力に、素  
晴らしい同志、誇れる仲間、支  
援者とともに、今後も、より良  
いがん医療環境の実現のために  
尽力して参りますので、引き続  
き皆さまのご理解とご支援をよ  
ろしくお願いいたします。

2015年4月より、今まで7  
年間事務局長を務めてきた柳澤  
昭浩に代わり、事務局長の任に  
就くこととなりました。

CNJが独立したオフィスを  
構え、新生スタートをきった  
2007年のがん対策基本法が施  
行されてから8年目を迎え、がん  
をめぐる状況は大きく変わって  
きていることを実感しています。  
国や行政、企業の取り組みも進ん  
できました。そのなかで、私た  
ちがNPOとして果たすべき役  
割は何なのか、何ができるのか、  
を常に考えていかなければなり  
ません。

スタッフコメント  
Staff Voice

# 秋葉原UDX 4F・6F

## ※総合受付 4F

〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1

# JR 秋葉原駅 電気街口を 出て目の前!

「知る」「学ぶ」「集う」ことを目的とした、「市民のための、最新がん医療フォーラム」が、今年の夏もまた、秋葉原に出現！  
8月8日(土)午前10時～午後7時に、秋葉原UDX 4階・6階フロア(全11会場)において、市民を対象にした、学会形式の最新がん医療フォーラム「AKIBA Cancer Forum 2015」を開催します。

昨年の第1回「AKIBA Cancer Forum 2014」には、全国から約1000名(延べ約3000名)の患者さん・ご家族・一般の皆さんにご来場いただき、大変好評を得ました。今年も、平成27年度日本郵便の年賀寄付金の助成を受け、さらに規模を拡大。胃がん、大腸がん、肝がん、肺がん、乳がんの五大がんや、血液がん、小児がん等の希少がんをはじめとした27種類ものがん情報から、在宅医療や医療費など、治療を取り巻く情報までを取り上げる、約50のセミナーを予定しています。各分野の一流の医師たちが集結し、最新の知識を余すことなくお伝えしていきます。

そのほか、「エンディングノート」「ぼくたち

\*プログラム・講師は予告なく変更になる可能性があります。最新の情報はWEBサイトでご確認ください。

ネクスト1	ネクスト2	ネクスト3	ゲストルームC	ゲストルームE
<b>乳がん治療最近の動向</b> 中村清吾 (昭和大学) 佐治重衡 (福島県立医科大学) 林直輝 (聖路加国際病院) 増田 紘子 (昭和大学病院)	<b>前立腺がんの外科治療</b> 堀江 重郎 (順天堂大学)  <b>前立腺がんの薬物療法</b> 赤倉 功一郎 (JCHO 東京新宿メディカルセンター)	<b>大腸がんの外科治療</b> 板橋 道朗 (東京女子医科大学)  <b>大腸がんの薬物療法</b> 吉野 孝之 (国立がん研究センター東病院)	<b>プラチナメーク&amp;フォトプログラム</b>	<b>maggie's tokyo</b> プロジェクト プレゼンツ企画  <b>BEC/CIN</b> 活動報告
<b>肺がんの外科治療</b> (日本肺癌学会共催) 光富 徹哉 (近畿大学)	<b>がんと在宅医療</b> 佐々木 淳 (医療法人社団悠翔会)	<b>肝臓がんの外科治療</b> 國土 典宏 (東京大学)		
<b>肺がんの薬物療法</b> (日本肺癌学会共催) 滝口 裕一 (千葉大学)	<b>がん医療と緩和ケア</b> 岩瀬 哲 (東京大学医科学研究所附属病院)	<b>肝臓がんの薬物療法</b> 池田 公史 (国立がん研究センター東病院)	14:00-15:15 <b>乳がんサバイバーのためのヨガ</b>	<b>サバイバーの声を聴こう!</b> Over Cancer Together ~がんと共にのりこえよう~
<b>がんの臨床試験</b> (日本肺癌学会共催) 関 順彦 (帝京大学)	<b>がんと家計</b> (がんと暮らしを考える会)	<b>胃がん</b> (共催: 神奈川胃癌ネット 神奈川標準的がん治療開発支援システム) 円谷 彰 (横浜市立大学附属市民総合医療センター) 木村 正之 (けいあいクリニック) 福永 哲 (順天堂大学医学部) 利野 靖 (横浜市立大学附属病院) 吉川 貴己 (神奈川県立がんセンター)		
<b>免疫療法</b> (日本肺癌学会共催) 佐々木 治一郎 (北里大学)	<b>がんの放射線治療</b> 唐澤 久美子 (東京女子医科大学)	<b>がんと栄養</b> 川口 美喜子 (大妻女子大学)	15:40-16:55 <b>すべてのがんサバイバーと家族のためのヨガ</b>	<b>企業向け講演</b> 効率的ながん医療情報の発信について
<b>がんと医療費のこと</b> 藤原 康弘 (国立がん研究センター中央病院)	<b>がん疼痛治療科の最前線</b> 服部 政治 (がん研有明病院)	<b>がんと遺伝</b> 湯浅 保仁 (東京医科歯科大学)		
<b>がんと漢方薬</b> 今津 嘉宏 (芝大門いまづクリニック)	<b>骨転移</b> 篠田 裕介 (東京大学医学部附属病院)			

# 6F

時間	部屋	カンファレンスD	カンファレンスE	カンファレンスF
10:00-10:50		<b>小児脳腫瘍</b> 柳澤 隆昭 (東京慈恵会医科大学附属病院)	<b>頭頸部がん</b> 藤井 正人 (国立病院機構東京医療センター)	<b>皮膚がん</b> 山崎 直也 (国立がん研究センター中央病院)
11:00-11:50		<b>小児血液がん・AYA 世代のがん</b> 楠木 重範 (チャイルド・ケモ・クリニック)	<b>甲状腺がん</b> 杉谷 巖 (日本医科大学)	<b>精巣腫瘍</b> 中村 晃和 (京都府立医科大学)
12:00-12:50		<b>がんと妊孕性</b> 菊地 盤 (順天堂大学医学部附属浦安病院)	<b>すい臓がん</b> 古瀬 純司 (杏林大学医学部付属病院)	<b>膀胱がん</b> 菊地 栄次 (慶應義塾大学病院)
13:00-13:50		<b>悪性リンパ腫</b> 伊豆津 宏二 (虎の門病院)	<b>胆道がん</b> 古瀬 純司 (杏林大学医学部付属病院)	<b>食道がん</b> 小島 隆嗣 (国立がん研究センター東病院)
14:00-14:50		<b>急性白血病</b> 進藤 岳郎 (佐賀大学医学部附属病院)	<b>乳房再建</b> 関堂 充 (筑波大学附属病院)	<b>腎がん</b> 近藤 恒徳 (東京女子医科大学)
15:00-15:50		<b>多発性骨髄腫</b> 木崎 昌弘 (埼玉医科大学総合医療センター)	<b>子宮体がん</b> 上坊 敏子 (相模野病院)	<b>脳腫瘍</b> 宮北 康二 (国立がん研究センター中央病院)
16:00-16:50		<b>慢性白血病</b> 木村 晋也 (佐賀大学医学部附属病院)	<b>子宮頸がん</b> 上坊 敏子 (相模野病院)	<b>骨軟部肉腫</b> 川井 章 (国立がん研究センター中央病院)
17:00-17:50		<b>骨髄異形成症候群</b> 照井 康仁 (がん研有明病院)	<b>卵巣がん</b> 落合 和徳 (東京慈恵会医科大学附属病院)	<b>胸腺腫</b> 後藤 悌 (国立がん研究センター中央病院)



の家族「50/50」「希望のちから」といった、がんをテーマにした映画の上映、がん体験者のためのヨガ、メイク&フォトプログラム、レモネードスタンド、手術体験ができるキッズセミナーなども同時開催します。

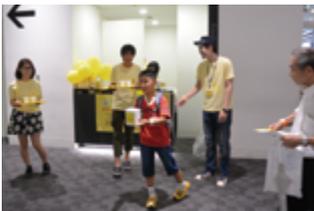
さらに、がん患者団体の展示ブースも出展されるので、がん向き合う患者さんやご家族にとって、貴重な交流の機会となるはずですよ。

今年は、クロージングセッションも予定。「がん100万人時代をどう生きるか?!」と題し、これからのがん医療における問題点を、がん医療に関わるステークホルダーが討論します。

秋葉原で、がんを学ぶ、有意義な一日を過ごしませんか。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

## 4F AKIBA Cancer Forum Programs

時間	部屋	ギャラリー 1&2	ギャラリー 3	シアター
10:00-10:50	<p>来場された方は総合受付にてリストバンドをお受け取りください。</p> <p><b>ギャラリー 1</b></p> <p><b>ギャラリー 2</b> ブース&amp;ステージ ステージプロデュース 広瀬 真奈美 (キャンサーフィットネス)</p>	<p>10:00-12:30 <b>手術体験キッズセミナー</b> 共催：神奈川胃癌ネット 神奈川標準のがん治療 開発支援システム</p>	<p>10:00-11:30 <b>映画《エンディングノート》</b> (89min) トーク (20min) 司会：小林 美幸</p>	
11:00-11:50			<p>12:00-13:38 <b>映画《50/50》</b> (98min) トーク (15min) 司会：小林 美幸</p>	
12:00-12:50		<p>13:00-16:00 <b>大人だって体験したい！ 医療機器展示</b> 共催：神奈川胃癌ネット 神奈川標準のがん治療 開発支援システム</p>	<p>14:00-16:12 <b>映画《ぼくたちの家族》</b> (117min) トーク (15min) 司会：小林 美幸</p>	
13:00-13:50			<p>16:20-17:51 <b>映画《希望のちから》</b> (91min) トークはありません</p>	
14:00-14:50		<p>司会：橋本 佐与子 (MBS 毎日放送) 安達 進 (アツヴィ合同会社) 秋月 玲子 (厚生労働省) 勝俣 範之 (日本医科大学武蔵小杉病院) 鈴木 美穂 (NPO 法人 maggie's tokyo) 関原 健夫 (日本対がん協会) 藤原 康弘 (国立がん研究センター中央病院) (五十音順)</p>	<p><b>閉会セッション</b> <b>がん100万人時代をどう生きるか!?</b></p>	
15:00-15:50				
16:00-16:50				
17:00-17:50				
18:00-19:00				



参加お申し込み・詳細は  
<http://www.cancernet.jp/acf/>



完治した  
キズのあと\*1の保湿&  
妊婦向け化粧品部門  
売上No.1

イギリスIRI 2006~2011年



友達の薦めでバイオイルを使い始めました。去年の5月に手術を受け、そこは完治したのですが、キズあと\*1が残ってしまったのです。それ以来バイオイルを使い続けています！私の肌は季節によってすごく乾燥するタイプなので、今ではスキンケアやボディケアにも使っています。もちろん乾燥による小じわ\*2を目立たなくするためにも。とても気に入ったので、身近な人みんなにお薦めして使ってもらっています。私はこれからもバイオイルを使い続けるつもりです。こんなに素敵な美容オイルを開発してくれてありがとう！

Roxann Peniche (ロクサン・ペニシェ)

バイオイルは、完治したキズのあと\*1を柔軟にしてきれいに見せたり、乾燥による小じわを目立たなくしたり\*2、産前産後のスキンケアにも使える、美容保湿オイルです。独自のデリバリー成分が有用成分を包み込み、肌角質層の深部までスッと浸透させるので、ベタつかず、サラッとした感触です。全国のドラッグストア、バラエティストアなどで販売中。\*1完治したキズのあととは、ケロイドや色素沈着のある肌ではなく、健常な状態に戻った肌のことです。\*2効能評価試験済み。○効果には個人差があります。お問い合わせ: 株式会社ジャンパール ☎0120-77-0469(平日:9時~17時30分) www.bioil.jp